

篠岡地区学校再編計画

～しのおか学園構想～

(案)

小牧市教育委員会

はじめに（篠岡地区学校再編計画について）

今後ますます減少すると見込まれる児童生徒数と学校施設の老朽化の課題を抱える中、小牧市教育委員会は、子どもたちに豊かな学びを保障していくため、令和6年9月に、子どもたちにとってより望ましい教育環境と本市における学校施設の適正規模・適正配置の基本的な考え方を整理した「小牧市新たな学校づくり推進計画」を策定しました。

「小牧市新たな学校づくり推進計画」においては、学校再編は、市全体の課題であるとした上で、地域によって児童生徒数や学校施設の老朽化の状況が異なっていることから、こうした課題を地域ごとに整理した上で、学校再編の検討を進めていくことといたしました。

計画では、巾下地区、北里地区、篠岡地区は、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の課題が大きく、できるだけ早急に学校再編について検討していく必要がある地域と位置付けられました。

その中でも特に、篠岡地区については、急速な高齢化と児童生徒数の減少が顕著であり、現在においても1学年1学級の学校があり、今後さらに1学級の学年が増えていく状況にあるため、篠岡地区から学校再編の検討に着手することとし、保護者や地域の皆様のご意見をお聴きしながら「篠岡地区学校再編計画」の策定をするものです。

令和●年●月

小牧市教育委員会

目次

第 1	「小牧市新たな学校づくり推進計画」について	1
1	「小牧市新たな学校づくり推進計画（令和 6 年 9 月策定）」の概要	1
	（1）よりよい教育環境をつくるために	1
	（2）学校の適正規模	2
	（3）学校の適正配置	2
	（4）小中一貫教育	3
	（5）学校再編のイメージ	4
	（6）早急に取り組む必要がある学校	6
	（7）学校再編における協議の流れ	6
第 2	篠岡地区の学校の現状と課題	7
1	現状	7
	（1）学校の位置	7
	（2）学校の沿革	9
2	課題	10
	（1）児童生徒数の減少	10
	（2）学校施設の老朽化	21
第 3	篠岡地区学校再編計画	22
1	『しのおか学園』構想	22
2	『しのおか学園』が目指す児童生徒像	23
3	学校規模適正化の具体的な方策	25
	（1）第 1 期再編	25
	（2）第 2 期再編	33
4	第 1 期再編の主な取組	35
	（1）学校再編準備調査研究委員会の設置	35
	（2）校舎の改修・修繕	35
	（3）通学路の設定	35
	（4）スケジュール	36
■	参考資料	37
	（1）策定の経過	38
	（2）検討組織	40
	（3）小学生アンケート調査	42
	（4）中学生アンケート調査	48
	（5）児童生徒の保護者アンケート調査	55
	（6）未就学児の保護者アンケート調査	63
	（7）城山三丁目及び城山四丁目の通学区域に関するアンケート調査	71

第1 「小牧市新たな学校づくり推進計画」について

1 「小牧市新たな学校づくり推進計画（令和6年9月策定）」の概要

（1）よりよい教育環境をつくるために

①多様性の中での学びの推進

学校は、社会の縮図と言われています。多様な他者、多様な価値観の中で、思考力・判断力・表現力や、社会性・人間関係を形成する力を育む場でもあります。

しかしながら、本市では児童生徒数が減少しており、子どもたちが多様性に触れる機会が損なわれかねない状況にあります。

子どもたちに豊かな学びを保障するためには、日ごろの学校生活や「学び合う学び」の授業をはじめ、ICT教育、特別支援教育、外国人児童生徒教育など、全ての教育活動において、子どもたちが様々な見方や考え方、価値観、文化等の多様性に触れる機会が重要であり、一定の集団規模が確保されていることが望ましいです。

②探究的な学びの推進

従来の学校教育で重視されていた「同じ内容を正確に早くこなす力」よりも、「正解のない問題に取り組み、よりよい解決策や新たな価値を見つける力」が重視されるようになりました。各教科の学習で培った見方・考え方や学びに向かう力を、日常生活において生きるものにする必要があります。

そのためには、子ども自身が自ら課題を見だし、課題の解決をするとともに、振り返って次の課題につなげる「課題解決力」、自分の思考や行動を把握・分析して方向性を最適化するとともに、多様な他者と協働する「調整力」、新たな考えや仕組み、価値を生み出す「創造力」を育成する必要があります。そしてそれらの力は、探究的な活動を充実させ、学びの質を向上させることで育まれるものであります。

子どもたちが社会に出てからも目の前の課題を解決できる確かな力を身につけられるよう、「学び合う学び」を基盤として、探究的な学びの充実に取り組めます。

③小中9年間のつながりのある学びの推進

小中一貫教育のメリット・デメリットを考慮した上で、本市では、これからの学校教育の在り方として、義務教育9年間を連続した教育課程とした小中一

貫教育の導入を検討していきます。

義務教育 9 年間の学びと育ちをさらにつないでいくため、9 年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を実現する学校体制とし、授業を通して、子どもたちが学ぶ楽しさや自分自身の成長をより一層感じられ、学びに向かう力や学力の向上につなげます。

（２）学校の適正規模

学校規模によるメリットやデメリットを考慮し、本市における学校の適正規模の基本的な考え方は次のとおりです。

小学校	中学校
1 校あたり 12 学級から 24 学級 (1 学年あたり 2 学級から 4 学級)	1 校あたり 12 学級から 24 学級 (1 学年あたり 4 学級から 8 学級)

なお、適正規模の条件を満たさない学校については、小規模校・大規模校の課題の解消に努めますが、地域の事情に応じて、弾力的に運用することとします。

◎学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）（抄）

第 41 条 小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

第 79 条 第 41 条から第 49 条まで、第 50 条第 2 項、第 54 条から第 68 条までの規定は、中学校に準用する。

（３）学校の適正配置

本市における学校の適正配置の基本的な考え方は次のとおりです。

	小学校	中学校
通学距離 の許容範囲	おおむね 4 km 以内 を目安	おおむね 6 km 以内 を目安
通学時間 の許容範囲	おおむね 1 時間以内 を目安	おおむね 1 時間以内 を目安

ただし、徒歩での通学距離が著しく遠距離となる子どもたちについては、通学距離や学年等を考慮した上で、公共交通機関の活用やスクールバスの導入等の検討が必要です。

また、子どもたちが安全に通学できるよう、安全な通学路の設定や地域との連携による見守り活動等、安全対策が必要です。

◎義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令(昭和 33 年政令第 189 号) (抄)

(適正な学校規模の条件)

第 4 条 (略)

一 (略)

二 通学距離が、小学校にあつてはおおむね 4 キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあつてはおおむね 6 キロメートル以内であること。(後略)

◎公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引 (抄)

2 章 適正規模・適正配置について

(2) 学校の適正配置 (通学条件)

適切な交通手段が確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つということを前提として、通学時間について、「おおむね 1 時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて 1 時間以上や 1 時間以内に設定することの適否も含めた判断を行うことが適当であると考えられます。

(4) 小中一貫教育

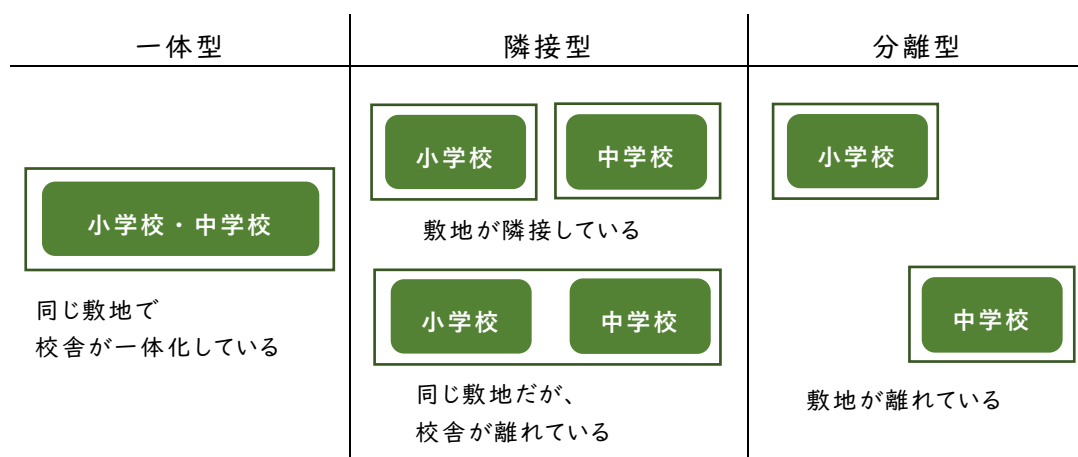
義務教育 9 年間の学びと育ちをさらに繋いでいくため、小中一貫教育の導入を検討します。

学校の再編に伴い建替えを行う際には、可能な限り、小中一貫型小学校・中学校(以下、「小中一貫校」という。)の設立を視野に検討します。

なお、小中一貫校には、小学校と中学校が同じ建物を共有している「施設一体型」、小学校と中学校の敷地が隣接している「施設隣接型」、従来の小学校・中学校と同じように、敷地が離れている「施設分離型」の 3 種類があります。

今後、学校の立地状況等に応じて、小中一貫校の設立について検討をしていきますが、小中一貫教育の導入自体が目的ではなく、義務教育 9 年間を連続した教育課程として捉え、子どもたち、学校、地域の実情等を踏まえて、具体的な取組内容の質を高めていくことを目的として、小中一貫校の設立を検討します。

図 小中一貫校の種類









（５）学校再編のイメージ

学校の適正規模を確保する観点から、地区ごとに課題を整理した上で再編のイメージを次のとおり、お示ししました。

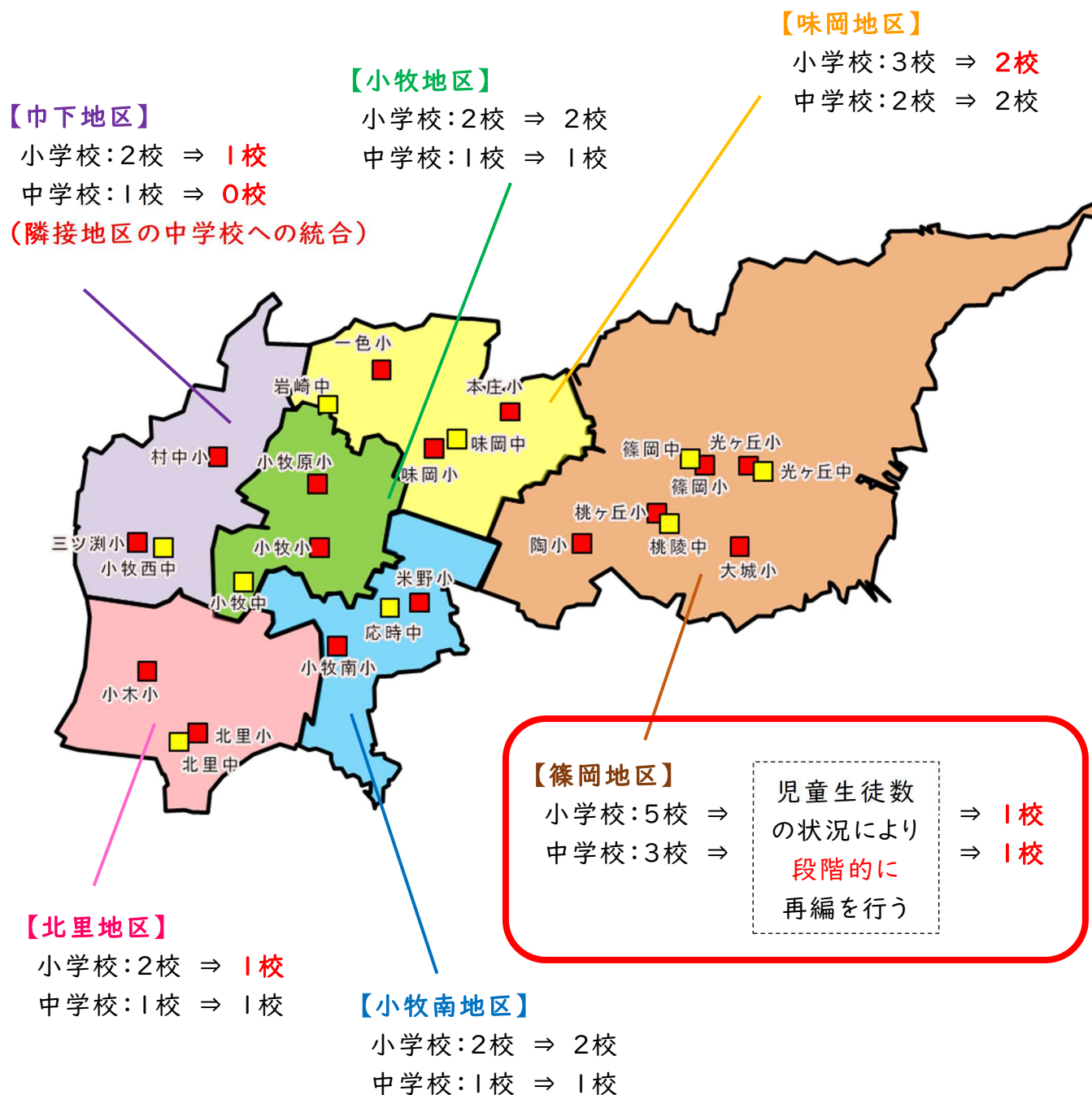
この再編イメージは、令和 15 年度の児童生徒数の推計及び適正規模・適正配置の基準に基づいた必要学校数のイメージであり、具体的な再編案は、今後、地域の実情に合わせて地域別の再編計画を策定していく中で検討します。

図 地区別再編のイメージ

令和 5 年度 令和 15 年度推計			再編イメージ		
小牧地区	小牧小学校	(24 学級) → (24 学級)		小学校 2校	
	小牧原小学校	(21 学級) → (18 学級)			
	小牧中学校	(21 学級) → (18 学級)		中学校 1校	
小牧南地区	小牧南小学校	(26 学級) → (23 学級)		小学校 2校	
	米野小学校	(24 学級) → (24 学級)			
	応時中学校	(20 学級) → (17 学級)		中学校 1校	
中下地区	村中小学校	(12 学級) → (12 学級)		小学校 1校	
	三ツ淵小学校	(11 学級) → (6 学級)			
	小牧西中学校	(8 学級) → (6 学級)		隣接地区の中学校への統合	
味噌地区	味噌小学校	(28 学級) → (24 学級)		小学校 2校	
	一色小学校	(18 学級) → (15 学級)			
	本庄小学校	(18 学級) → (12 学級)			
	味噌中学校	(19 学級) → (15 学級)		中学校 2校	
篠岡地区	篠岡小学校	(11 学級) → (6 学級)		児童生徒数の状況により段階的に再編を行う	
	桃ヶ丘小学校	(13 学級) → (6 学級)			
	陶小学校	(6 学級) → (6 学級)			
	光ヶ丘小学校	(12 学級) → (6 学級)			
	大城小学校	(10 学級) → (6 学級)			
	篠岡中学校	(6 学級) → (3 学級)			
北里地区	桃陵中学校	(13 学級) → (6 学級)		小学校 1校	
	光ヶ丘中学校	(8 学級) → (6 学級)			
	北里中学校	(13 学級) → (10 学級)		中学校 1校	

※ 児童生徒数の推計をもとに考える再編イメージです。令和 15 年度までに再編を行うことが決定しているものではありません。今後、地域の実情に合わせて、具体的な再編案を検討します。

図 地区別再編のイメージ



※ この再編イメージは、令和 15 年度の児童生徒数の推計及び適正規模・適正配置の基準に基づいた必要学校数のイメージであり、具体的な再編案は、今後、地域の実情に合わせて地域別の再編計画を策定していく中で検討します。

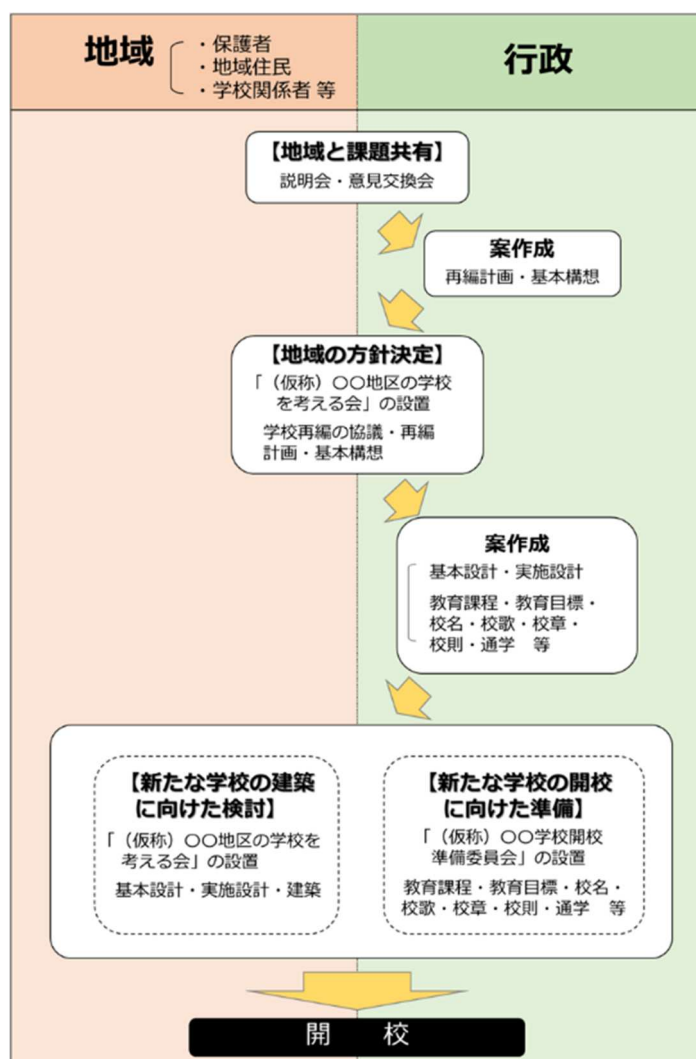
（６）早急にに取り組む必要がある学校

巾下地区、篠岡地区、北里地区は、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の課題が大きく、子どもたちのよりよい教育環境を整備していく上で、その課題解消のため、できるだけ早急に学校再編について検討していく必要があると位置付けています。

（７）学校再編における協議の流れ

児童生徒数の推計、学校施設の老朽化の状況や児童生徒の通学状況などを勘案するとともに、保護者や地域からの意見をお聴きしながら学校再編計画案をまとめていきます。地域からの様々な意見をいただくため、保護者や教員、自治会の代表者などを構成員とする「学校を考える会」を設置し、学校再編の具体的な方策等について協議し、地域別の再編計画を策定します。

図 協議の流れ



第2 篠岡地区の学校の現状と課題

1 現状

(1) 学校の位置

図 小學校区と小學校の分布



< 小学校 >

学校名	位 置	建築年度	敷地面積	延床面積
篠岡小学校	篠岡二丁目 25 番地	昭和 33	28,508 m ²	5,907 m ²
桃ヶ丘小学校	桃ヶ丘二丁目 3 番地	昭和 50	27,160 m ²	6,423 m ²
陶小学校	上末 3450 番地 282	昭和 59	19,651 m ²	4,143 m ²
光ヶ丘小学校	光ヶ丘三丁目 50 番地	昭和 62	24,150 m ²	7,092 m ²
大城小学校	城山三丁目 8 番地	平成元	27,415 m ²	7,349 m ²

図 中学校区と中学校の分布



< 中学校 >

学校名	位 置	建築年度	敷地面積	延床面積
篠岡中学校	篠岡二丁目 28 番地	昭和 40	33,757 m ²	7,401 m ²
桃陵中学校	桃ヶ丘二丁目 1 番地	昭和 56	34,777 m ²	8,724 m ²
光ヶ丘中学校	光ヶ丘三丁目 52 番地	平成元	31,794 m ²	8,289 m ²

（２）学校の沿革

篠岡地区内の学校としては、篠岡小学校が明治 42 年に、篠岡中学校が昭和 22 年に開校し、その後、桃花台ニュータウンの開発に伴う児童生徒数の急増に対応するため、下記のとおり分離開校を繰り返してきました。

＜小学校＞

学校名	沿革
篠岡小学校	明治42年：開校（篠岡尋常高等小学校） 昭和30年：市制施行により篠岡小学校に改称 昭和51年：一部校区を分離し桃ヶ丘小学校が開校 昭和63年：一部校区を分離し光ヶ丘小学校が開校 平成２年：一部校区を分離し大城小学校が開校
桃ヶ丘小学校	昭和51年：篠岡小学校より分離開校 昭和60年：一部校区を分離し陶小学校が開校 平成２年：一部校区を分離し大城小学校が開校
陶小学校	昭和60年：桃ヶ丘小学校より分離開校 （上末新田地区が篠岡小学校区より校区変更）
光ヶ丘小学校	昭和63年：篠岡小学校より分離開校
大城小学校	平成２年：篠岡小学校、桃ヶ丘小学校より分離開校

＜中学校＞

学校名	沿革
篠岡中学校	昭和22年：開校（篠岡村立篠岡中学校） 昭和30年：市制施行により篠岡中学校に改称 昭和57年：一部校区を分離し桃陵中学校が開校 平成２年：一部校区を分離し光ヶ丘中学校が開校
桃陵中学校	昭和57年：篠岡中学校より分離開校
光ヶ丘中学校	平成２年：篠岡中学校より分離開校

2 課題

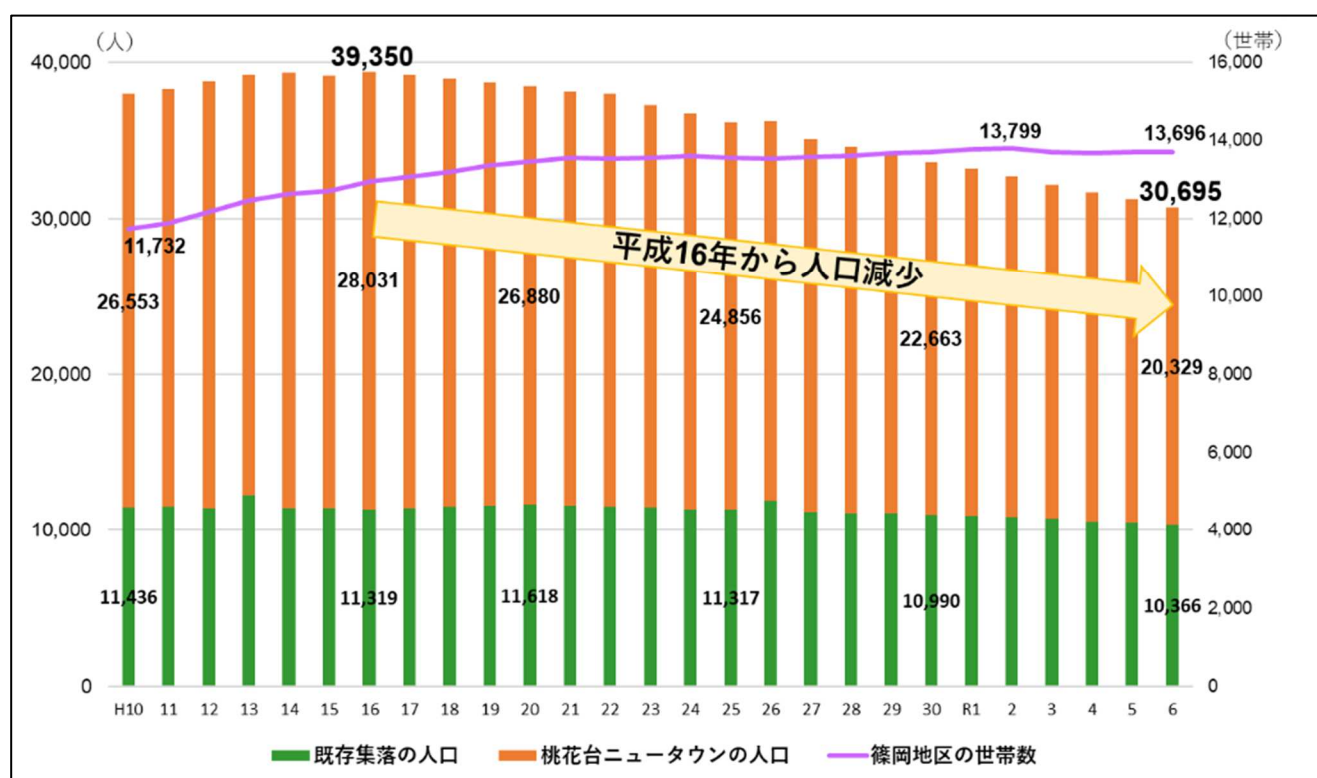
(1) 児童生徒数の減少

①人口・世帯数の推移

住民基本台帳に基づく篠岡地区の人口は、平成16年の39,350人をピークにして、令和6年には30,695人にまで減少しています。このうち、桃花台ニュータウン以外の既存集落の人口は微減で推移していますが、桃花台ニュータウンは人口減少の傾向が強くなっています。

一方、世帯数は、核家族化の進行により概ね横ばいで推移しており、令和6年は13,696世帯となっています。

図 篠岡地区の人口・世帯数の推移



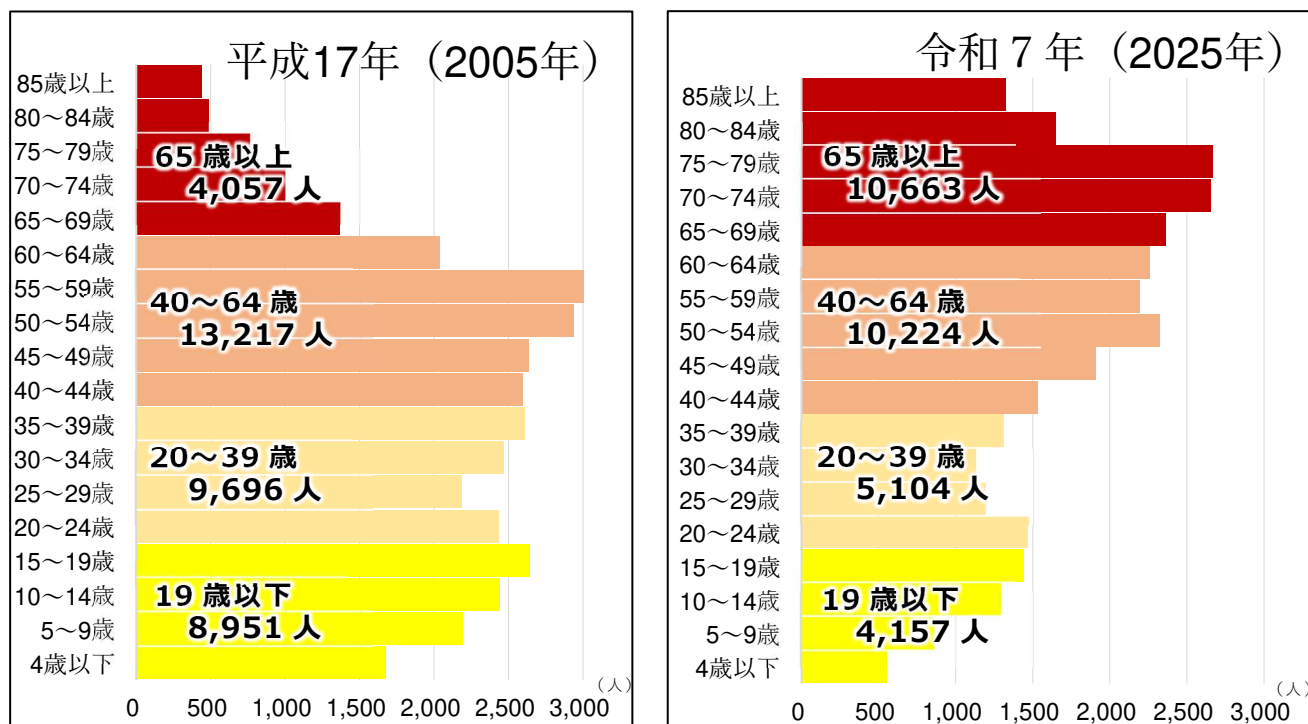
※ 「住民基本台帳（各年10月1日現在）」に基づく

②年齢別人口

国勢調査及び住民基本台帳に基づく篠岡地区の年齢別人口は、平成 17 年と令和 7 年を比較すると、19 歳以下の人口が半分以上まで減少しています。

一方で、65 歳以上の人口は約 2.5 倍まで増加しており、年齢構成が大きく変化しています。

図 篠岡地区の人口ピラミッド

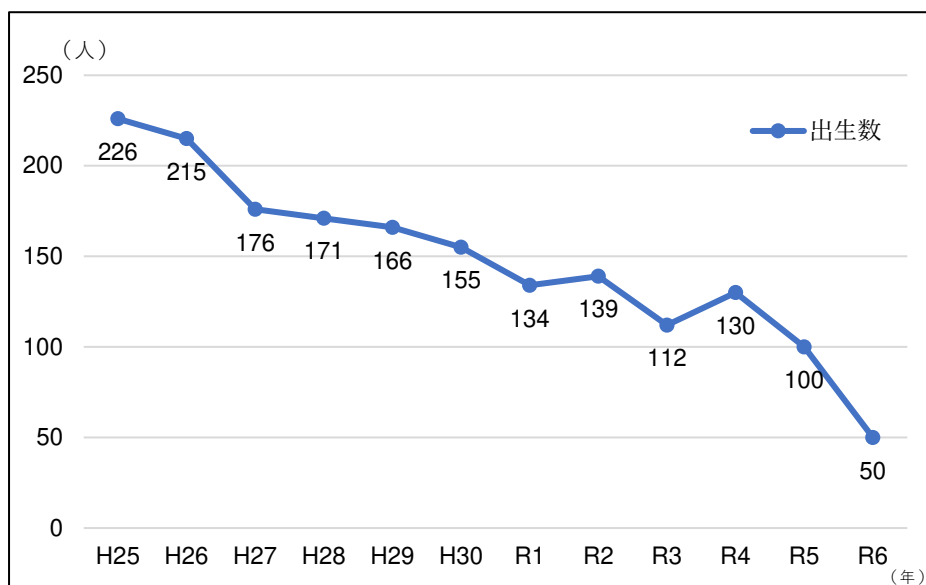


※ 国勢調査（平成 17 年 10 月 1 日現在）及び住民基本台帳（令和 7 年 9 月 17 日現在）に基づく

③出生数及び自然増減数・社会増減数の推移

住民基本台帳に基づく篠岡地区の出生数は、年々減少が続いており、令和6年には50人となり、平成25年の約22%まで減少しました。

図 篠岡地区の出生数の推移

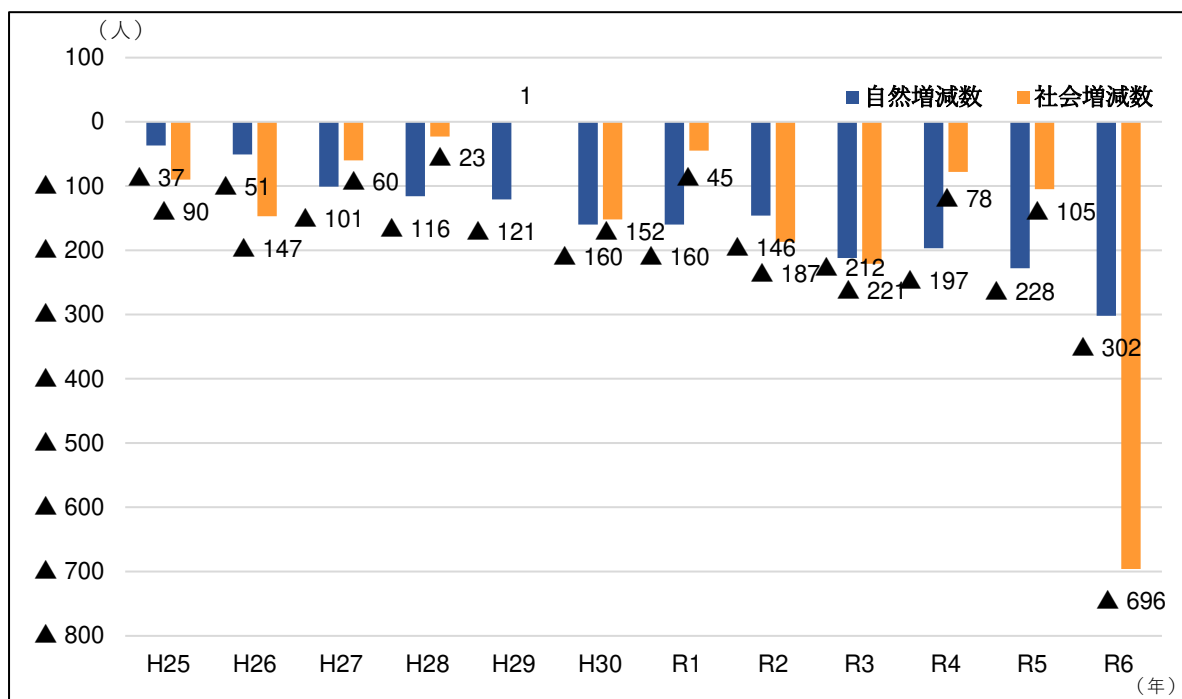


※ 住民基本台帳に基づく（平成25年から令和5年までは令和6年12月25日時点、令和6年は令和7年9月30日時点における住所で抽出）

住民基本台帳に基づく篠岡地区の人口における自然増減数（出生数と死亡数の差）と社会増減数（転入数と転出数の差）は、平成 25 年から令和 6 年までの間、ほぼ全ての年においてマイナス（死亡・転出超過）で推移しています。

特に、令和 6 年は自然増減が 302 人減少、社会増減が 696 人減少しており、篠岡地区の人口減少が著しく進んでいます。

図 篠岡地区の自然増減数・社会増減数の推移



※ 住民基本台帳に基づく（平成 25 年から令和 5 年までは令和 6 年 12 月 25 日時点、令和 6 年は令和 7 年 9 月 30 日時点における住所で抽出）

(参考) 篠岡地区の空家等数

令和6年度に実施した「小牧市空家等実態調査」に基づく篠岡地区の空家等数は、200棟と市内で最多となっていますが、空き家率は他の地区に比べて低い状況にあります。

桃花台ニュータウンには、多くの団塊の世代の方が居住しており、将来的には更に空家等が増加することが見込まれますが、10ページのとおり、核家族化の進行により世帯数は横ばいであり、人口減少に比して、空家等が増加していない状況にあります。

表 地区別の空家等数

地区	人口	世帯数	建物数	空家等数	空家等率
篠岡	30,563 人	13,678 世帯	8,642 棟	200 棟 (166 棟)	2.3 % (1.9 %)
小牧	28,320 人	14,253 世帯	5,887 棟	142 棟 (125 棟)	2.4 % (2.2 %)
小牧南	21,493 人	10,308 世帯	4,682 棟	123 棟 (114 棟)	2.6 % (2.5 %)
巾下	15,809 人	7,807 世帯	4,254 棟	100 棟 (87 棟)	2.6 % (2.5 %)
味岡	33,567 人	15,510 世帯	8,933 棟	180 棟 (164 棟)	2.0 % (1.9 %)
北里	19,273 人	9,164 世帯	5,736 棟	154 棟 (124 棟)	2.7 % (2.2 %)

※ 人口・世帯数は、住民基本台帳（令和7年1月1日現在）に基づく

※ 建物数は、課税台帳上の用途が「住宅」「寄宿舍」「共同住宅」「アパート」「寮」「社宅」「貸住宅」「貸店舗住宅」のいずれかに該当するものを抽出。なお、所在地が完全一致する物件は、あわせて1棟と数える。

※ 空家等とは、建築物又はこれに附属する工作物であって居住その他の使用がなされていないことが常態であるもの及びその敷地（立木その他の土地に定着する物を含む。）をいう。

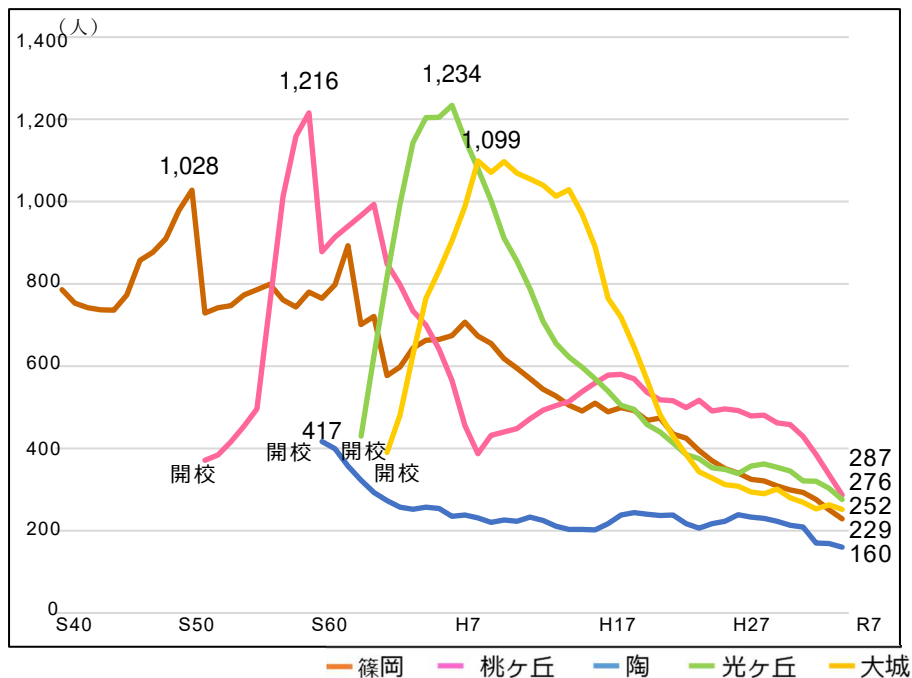
ただし、国又は地方公共団体が所有し、又は管理するものを除く。

※ 空家等数及び空き家等数率は、令和7年1月1日現在。ただし、括弧内は、令和3年1月1日現在。

④児童生徒数の推移

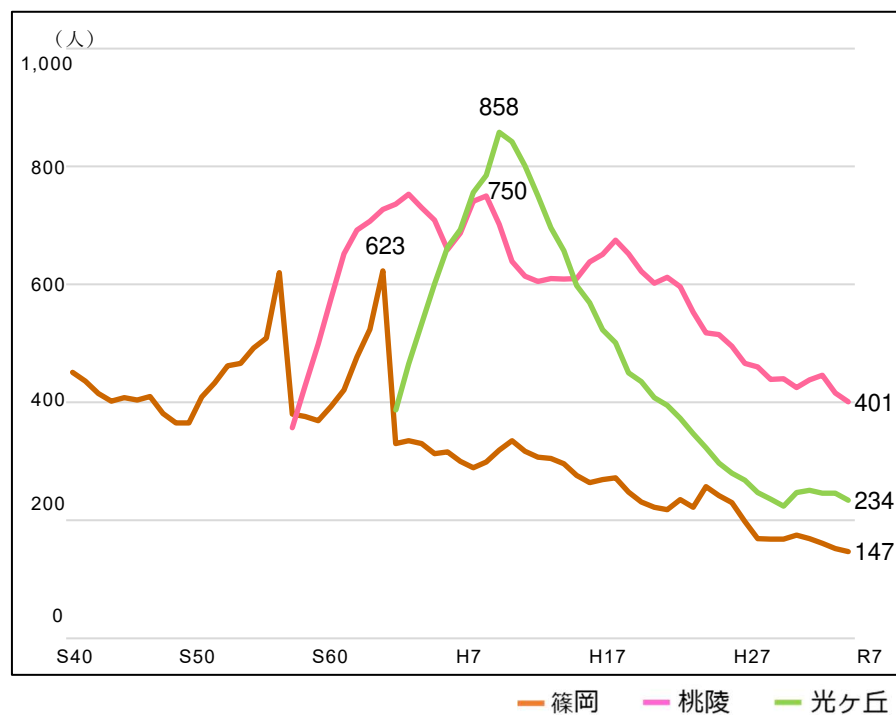
学校基本調査に基づく篠岡地区の児童生徒数は、年々減少しています。

図 篠岡地区の児童数の推移



※ 学校基本調査（各年5月1日現在）に基づく

図 篠岡地区の生徒数の推移



※ 学校基本調査（各年5月1日現在）に基づく

⑤児童生徒数の将来推計

「小牧市新たな学校づくり推進計画」を策定する中で令和５年度に小牧市教育委員会が行った推計に、児童生徒数及び未就学児童数の最新の数字を反映し、また、令和７年度以降に生まれる０歳児の人数について、３つの条件で推計し直しました。

現状では、下位推計が最も実態に近くなる可能性も危惧されますが、本市の子育て施策の効果等、様々な要因で年少人口が増加することを期待し、本計画の中では、中位推計を採用することとします。

１）上位推計

令和７年度以降に生まれる０歳児の人数について、「小牧市まちづくり推進計画 第２次基本計画」の人口推計を基に算出したもの

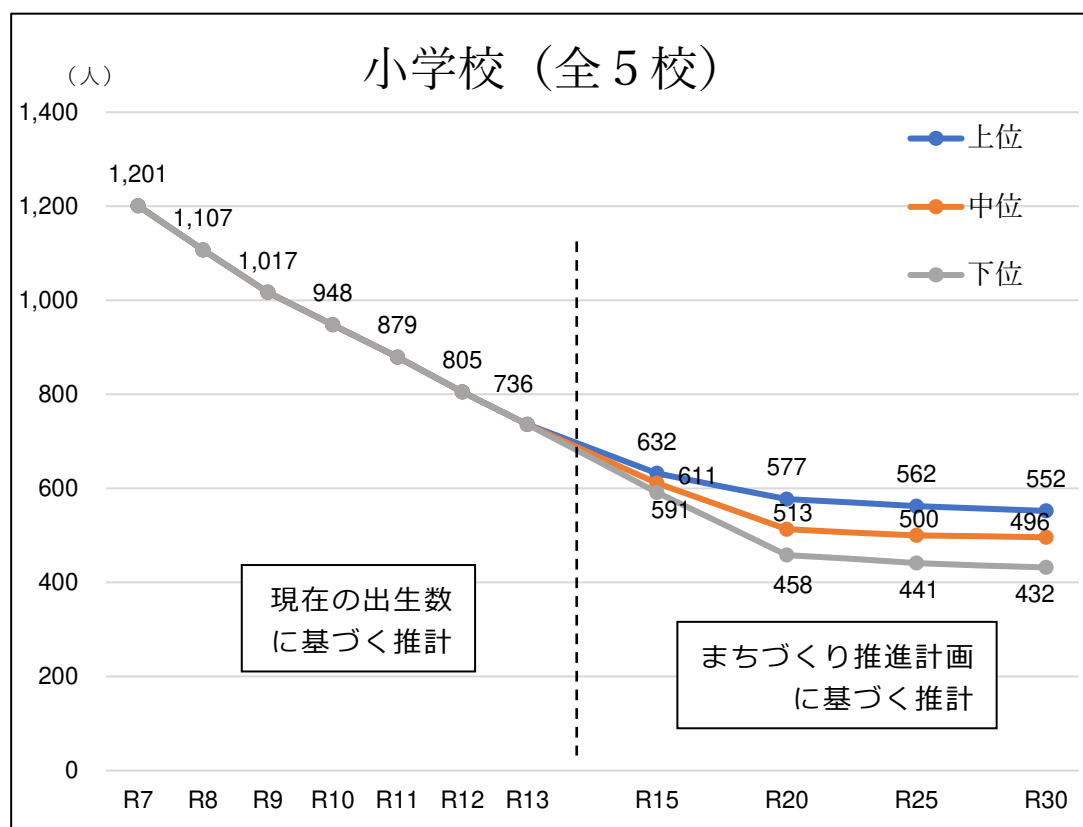
２）下位推計

より直近の実態に近づけるために、令和７年度における、「小牧市まちづくり推進計画 第２次基本計画」の人口推計で算出した０歳児の数と、住民基本台帳の０歳児の人数の差（約２２％）を反映して、令和７年度以降に生まれる０歳児の人数を算出したもの

３）中位推計

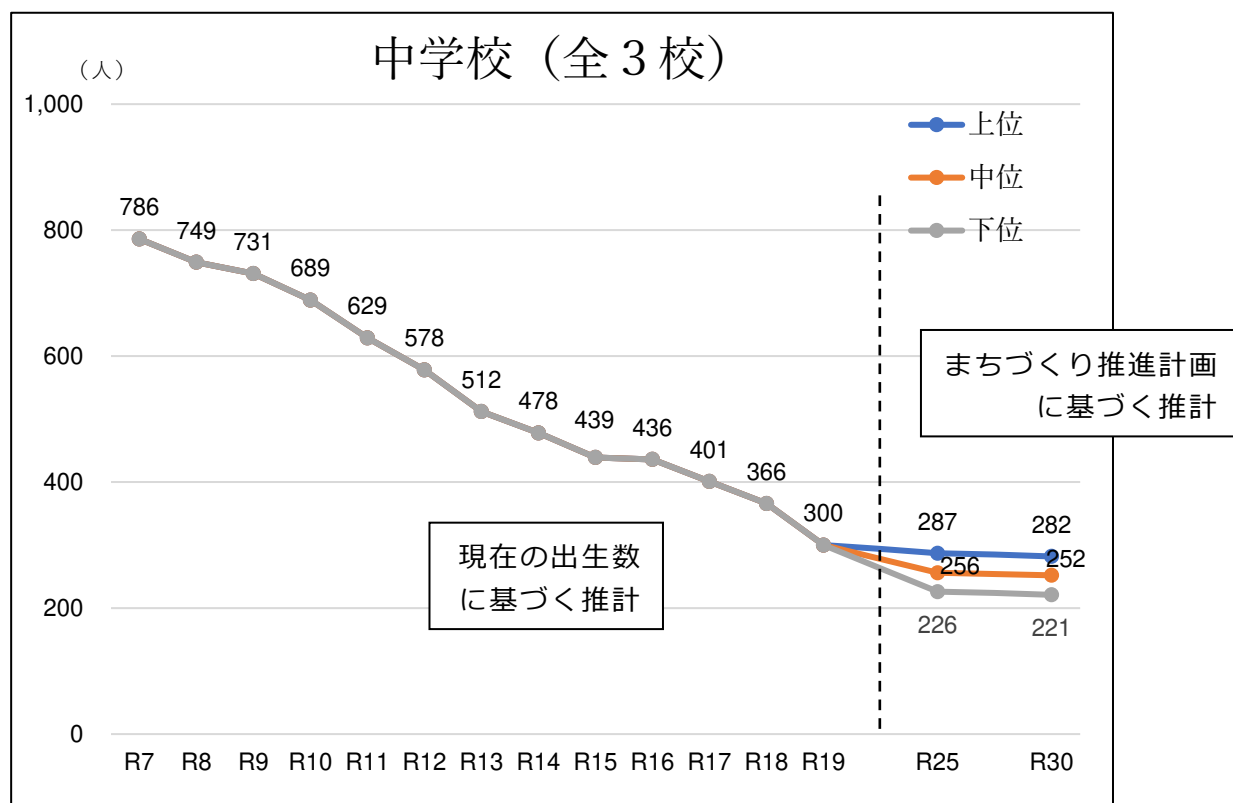
令和７年度以降に生まれる０歳児の人数について、上位推計と下位推計の間をとり、「小牧市まちづくり推進計画 第２次基本計画」の人口推計で算出した人数（上位推計）から約１１％の減少を見込んで算出したもの

図 篠岡地区の児童数の推計



	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R15	R20	R25	R30
上位								632	577	562	552
中位	1,201	1,107	1,017	948	879	805	736	611	513	500	496
下位								591	458	441	432

図 篠岡地区の生徒数の推計



	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R25	R30
上位														287	282
中位	786	749	731	689	629	578	512	478	439	436	401	366	300	256	252
下位														226	221

推計では、令和 9 年度には、全ての小学校において本市の適正規模を下回り、
令和 15 年度には、全ての小学校と篠岡中学校において全学年が 1 学級になる
見込みです。

表 篠岡地区の小中学校における学級数の推計（中位推計）

< 小学校 >

R7～R9年度

学校名		R7年度							R8年度							R9年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	人数	29	37	33	42	44	44	229	34	29	37	33	42	44	219	21	34	29	37	33	42	196
	学級数	1	1	1	2	2	2	9	1	1	1	1	2	2	8	1	1	1	1	1	2	7
桃ヶ丘小	人数	22	24	46	54	71	67	284	23	22	24	46	54	71	240	31	23	22	24	46	54	200
	学級数	1	1	2	2	2	2	10	1	1	1	2	2	2	9	1	1	1	1	2	2	8
陶小	人数	25	24	24	29	30	28	160	25	25	24	24	29	30	157	28	25	25	24	24	29	155
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	人数	38	51	42	40	52	53	276	40	38	51	42	40	52	263	29	40	38	51	42	40	240
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	1	2	2	2	2	2	11
大城小	人数	32	47	38	47	37	51	252	27	32	47	38	47	37	228	35	27	32	47	38	47	226
	学級数	1	2	1	2	1	2	9	1	1	2	1	2	1	8	1	1	1	2	1	2	8

R10～R12年度

学校名		R10年度							R11年度							R12年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	人数	34	21	34	29	37	33	188	17	34	21	34	29	37	172	24	17	34	21	34	29	159
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
桃ヶ丘小	人数	30	31	23	22	24	46	176	28	30	31	23	22	24	158	14	28	30	31	23	22	148
	学級数	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
陶小	人数	18	28	25	25	24	24	144	17	18	28	25	25	24	137	21	17	18	28	25	25	134
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	人数	33	29	40	38	51	42	233	29	33	29	40	38	51	220	20	29	33	29	40	38	189
	学級数	1	1	2	2	2	2	10	1	1	1	2	2	2	9	1	1	1	1	2	2	8
大城小	人数	28	35	27	32	47	38	207	23	28	35	27	32	47	192	30	23	28	35	27	32	175
	学級数	1	1	1	1	2	1	7	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	6

R13～R20年度

学校名		R13年度							R15年度							R20年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	人数	22	24	17	34	21	34	152	24	24	22	24	17	34	145	24	24	24	25	25	24	146
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
桃ヶ丘小	人数	16	14	28	30	31	23	142	18	17	16	14	28	30	123	18	18	18	18	18	18	108
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
陶小	人数	13	21	17	18	28	25	122	14	14	13	21	17	18	97	14	14	14	15	15	14	86
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	人数	11	20	29	33	29	40	162	12	12	11	20	29	33	117	12	12	12	12	12	12	72
	学級数	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
大城小	人数	15	30	23	28	35	27	158	17	16	15	30	23	28	129	16	17	17	17	17	17	101
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6

R25～R30年度

学校名		R25年度							R30年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	人数	24	24	24	24	24	24	144	23	23	24	24	24	24	142
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
桃ヶ丘小	人数	17	17	17	17	18	18	104	17	17	17	17	17	17	102
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
陶小	人数	14	14	14	14	14	14	84	14	14	14	14	14	14	84
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	人数	12	12	12	12	12	12	72	12	12	12	12	12	12	72
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6
大城小	人数	16	16	16	16	16	16	96	16	16	16	16	16	16	96
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6

※学級数は特別支援学級を除く

※学級数は全学年 35 人学級で算出

< 中学校 >

R7～R11年度

学校名		R7年度				R8年度				R9年度				R10年度				R11年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡中	人数	50	48	49	147	44	50	48	142	44	44	50	138	42	44	44	130	33	42	44	119
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	1	2	2	5
桃陵中	人数	123	119	163	405	117	123	119	359	117	117	123	357	103	117	117	337	86	103	117	306
	学級数	4	3	5	12	4	4	3	11	4	4	4	12	3	4	4	11	3	3	4	10
光ヶ丘中	人数	81	85	68	234	82	81	85	248	73	82	81	236	67	73	82	222	64	67	73	204
	学級数	3	3	2	8	3	3	3	9	3	3	3	9	2	3	3	8	2	2	3	7

R12～R16年度

学校名		R12年度				R13年度				R14年度				R15年度				R16年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡中	人数	37	33	42	112	29	37	33	99	34	29	37	100	21	34	29	84	34	21	34	89
	学級数	2	1	2	5	1	2	1	4	1	1	2	4	1	1	1	3	1	1	1	3
桃陵中	人数	68	86	103	257	58	68	86	212	55	58	68	181	68	55	58	181	58	68	55	181
	学級数	2	3	3	8	2	2	3	7	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6
光ヶ丘中	人数	78	64	67	209	59	78	64	201	60	59	78	197	55	60	59	174	51	55	60	166
	学級数	3	2	2	7	2	3	2	7	2	2	3	7	2	2	2	6	2	2	2	6

R17～R30年度

学校名		R17年度				R18年度				R19年度				R25年度				R30年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡中	人数	17	34	21	72	24	17	34	75	22	24	17	63	24	24	25	73	24	24	24	72
	学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3
桃陵中	人数	55	58	68	181	45	55	58	158	36	45	55	136	40	40	40	120	39	39	39	117
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6
光ヶ丘中	人数	42	51	55	148	40	42	51	133	19	40	42	101	21	21	21	63	21	21	21	63
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6	1	2	2	5	1	1	1	3	1	1	1	3

※学級数は特別支援学級を除く

※学級数は全学年 35 人学級で算出

ただし、令和 7 年度の中学校 2・3 年生及び令和 8 年度の中学校 3 年生は 40 人学級で算出

（２）学校施設の老朽化

篠岡地区の学校施設については、篠岡小学校と篠岡中学校の老朽化が著しい一方、その他の学校については、老朽化が進んではいるものの、市内の全小中学校の中では比較的、築年数が新しく、残りの耐用年数が長い状況です。

＜小学校＞

（令和 7 年 5 月 1 日現在）

学校名	建築年度	築年数	地区
篠岡小学校	昭和 33	67	篠岡地区
三ツ渚小学校	昭和 36	64	巾下地区
北里小学校	昭和 37	63	北里地区
村中小学校	昭和 39	61	巾下地区
味岡小学校	昭和 41	59	味岡地区
米野小学校	昭和 44	56	小牧南地区
一色小学校	昭和 44	56	味岡地区
小木小学校	昭和 49	51	北里地区
小牧原小学校	昭和 50	50	小牧地区
本庄小学校	昭和 50	50	味岡地区
桃ヶ丘小学校	昭和 50	50	篠岡地区
陶小学校	昭和 59	41	篠岡地区
光ヶ丘小学校	昭和 62	38	篠岡地区
大城小学校	平成元	36	篠岡地区
小牧小学校	平成 23	14	小牧地区
小牧南小学校	令和 3	4	小牧南地区

＜中学校＞

（令和 7 年 5 月 1 日現在）

学校名	建築年度	築年数	地区
北里中学校	昭和 38	62	北里地区
篠岡中学校	昭和 40	60	篠岡地区
応時中学校	昭和 48	52	小牧南地区
岩崎中学校	昭和 52	48	味岡地区
桃陵中学校	昭和 56	44	篠岡地区
小牧西中学校	昭和 57	43	巾下地区
光ヶ丘中学校	平成元	36	篠岡地区
小牧中学校	平成 9	28	小牧地区
味岡中学校	平成 26	11	味岡地区

第3 篠岡地区学校再編計画

1 『しのおか学園』構想

篠岡地区は歴史と伝統のある旧篠岡村の地域と、丘陵地を切り開き桃花台ニュータウンとして造成され発展してきた地域を併せ持つ特色のある地域であり、古き良き田園風景や里山などの豊かな自然環境に加え、農業・工業・商業など多様な産業と充実した都市インフラがバランスよく存在しています。



こうした多様性に富んだ地域性と郷土の資源を効果的に活用するため、「しのおか」という一つの学び舎の中、一貫したカリキュラム・マネジメントのもと、義務教育9年間の連続した学びの充実を図ることで、子どもたちが多くの仲間との交流の中で豊かな情操と人間関係を醸成し、広い視野と課題に向き合う力を相互に育むことができる教育を目指します。



また、子どもたちが変化の激しい社会をたくましく生きられるよう、より一層、地域に根差し、地域に支えられながら、探究的、創造的な教育を実施することで、子どもたちの郷土愛や誇りを醸成するとともに、変化を恐れず進んで新しい物事に取り組むことができるチャレンジ精神を育みます。

その上で、篠岡地区は児童生徒数の減少が顕著であり、子どもたちが多様性に触れる機会が損なわれかねない状況にあることから、子どもたちの将来を見据え、よりよい教育環境を整備し、一層の教育の充実を図るため、学校の再編により篠岡地区の小中学校を適正規模に近づけることとします。



2 『しのおか学園』が目指す児童生徒像

学び合える子

自ら課題をもち、仲間と協働しながら探究的に学ぶとともに、子どもたちが進んで新しい物事に取り組むことを通して、まだ見ぬ自分に出会う喜びを感じ、未来を生き抜く力を身に付けることができる。



認め合える子

良好な人間関係を築き、多様性を認め、自他を大切にすることができる。

また、多様な考えに触れることを通して自らの考えを見つめ直し、深めることができる。



関わり合える子

児童生徒同士の関わりだけでなく、教職員や家庭、地域とも関わり合うことで、夢や目標の実現に向けて支え合い、励まし合いながら努力することができる。



《 学び合える子 》

自ら課題をもち、仲間と協働しながら探究的に学ぶとともに、子どもたちが進んで新しい物事に取り組むことを通して、まだ見ぬ自分に出会う喜びを感じ、未来を生き抜く力を身に付けることができる。



《 認め合える子 》

良好な人間関係を築き、多様性を認め、自他を大切にすることができる。
また、多様な考えに触れることを通して自らの考えを見つめ直し、深めることができる。



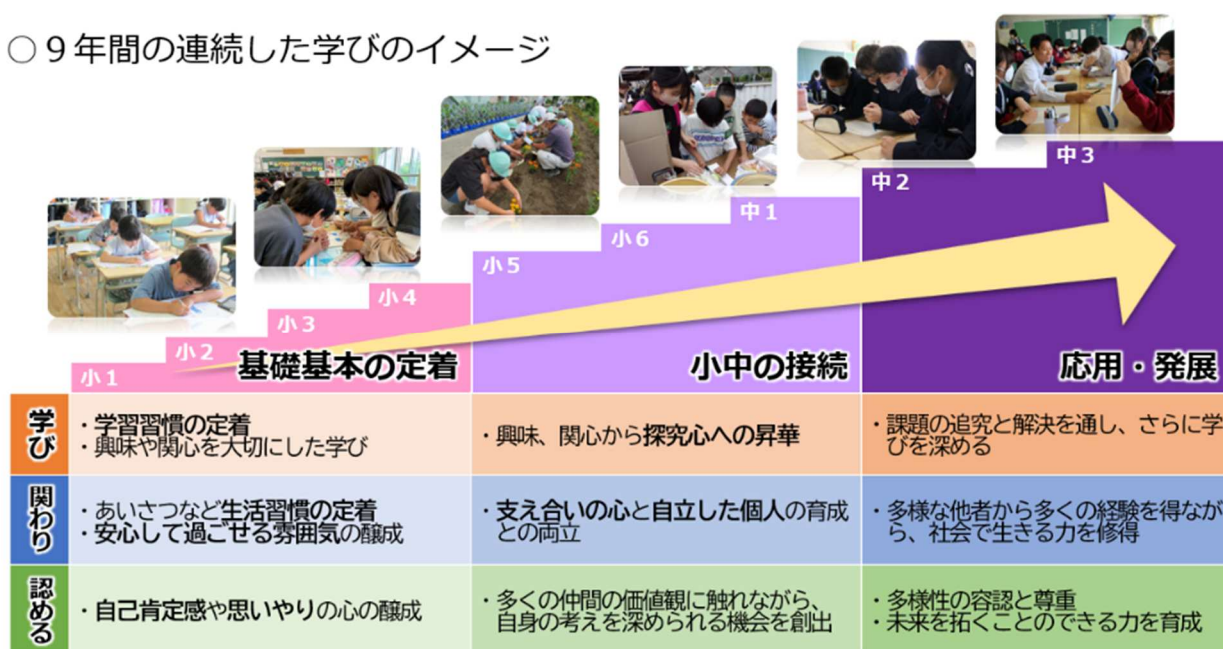
しのおか学園



《 関わり合える子 》

児童生徒同士の関わりだけでなく、教職員や家庭、地域とも関わり合うことで、夢や目標の実現に向けて支え合い、励まし合いながら努力することができる。

○ 9年間の連続した学びのイメージ



3 学校規模適正化の具体的な方策

篠岡地区の小中学校を適正規模に近づけるため、児童生徒数と学校施設の老朽化の状況、通学距離を考慮した上で、子どもたちへの影響を最小化するため、既存の通学区域の編成を極力生かした学校再編を実施します。

また、篠岡地区については、児童生徒数の減少が顕著であるため、段階的な再編として、再編を2期に分け、まずは第1期の再編として、既存の校舎を利用した再編を早期に実施します。

(1) 第1期再編

篠岡地区については、現状においても1学年1学級の学校があり、さらに増えていくことに加え、今後は1学級あたりの人数が20人を切る学級が出てくる見込みをしています。



子どもたちが多様な考え方に触れ、社会性を養いながら成長をしていくためには、一定の学校規模を確保していくことが必要であり、可能な限り早く再編を行う必要があります。



早期の再編を実現するため、既存の校舎を利用した再編を行うこととし、令和9年度に現在の「小学校5校、中学校3校」を「小学校2校、中学校2校」に再編します。

表 篠岡地区の令和7年度の児童生徒数及び学級数

学校名	1年				2年				3年				4年				5年				6年				児童数 合計
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	
篠岡小	29	13	16	1	37	17	20	1	33	22	11	1	42	29	13	2	44	18	26	2	44	21	23	2	229
桃ヶ丘小	22	7	15	1	25	9	16	1	47	20	27	2	54	30	24	2	72	34	38	2	67	34	33	2	287
陶小	25	16	9	1	24	17	7	1	24	14	10	1	29	14	15	1	30	21	9	1	28	11	17	1	160
光ヶ丘小	38	24	14	2	51	21	30	2	42	21	21	2	40	20	20	2	52	23	29	2	53	26	27	2	276
大城小	32	15	17	1	47	24	23	2	38	17	21	1	47	28	19	2	37	21	16	1	51	29	22	2	252

学校名	1年				2年				3年				生徒数 合計
	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	人数	男	女	学級数	
篠岡中	50	22	28	2	48	29	19	2	49	25	24	2	147
桃陵中	120	63	57	4	119	61	58	3	161	79	82	4	400
光ヶ丘中	80	34	46	3	86	49	37	3	68	33	35	2	234

※ 住民基本台帳（令和7年6月3日現在）に基づく

表 篠岡地区に居住する未就学児の人数

学校区	R1度生まれ (R8入学予定)	R2度生まれ (R9入学予定)	R3度生まれ (R10入学予定)	R4度生まれ (R11入学予定)	R5度生まれ (R12入学予定)	R6度生まれ (R13入学予定)
篠岡小	34	21	34	17	24	22
桃ヶ丘小	23	31	30	28	14	16
陶 小	25	28	18	17	21	13
光ヶ丘小	40	29	33	29	20	11
大城小	26	35	26	22	30	15
合 計	148	144	141	113	109	77

※ 住民基本台帳（令和 7 年 6 月 3 日現在）に基づく

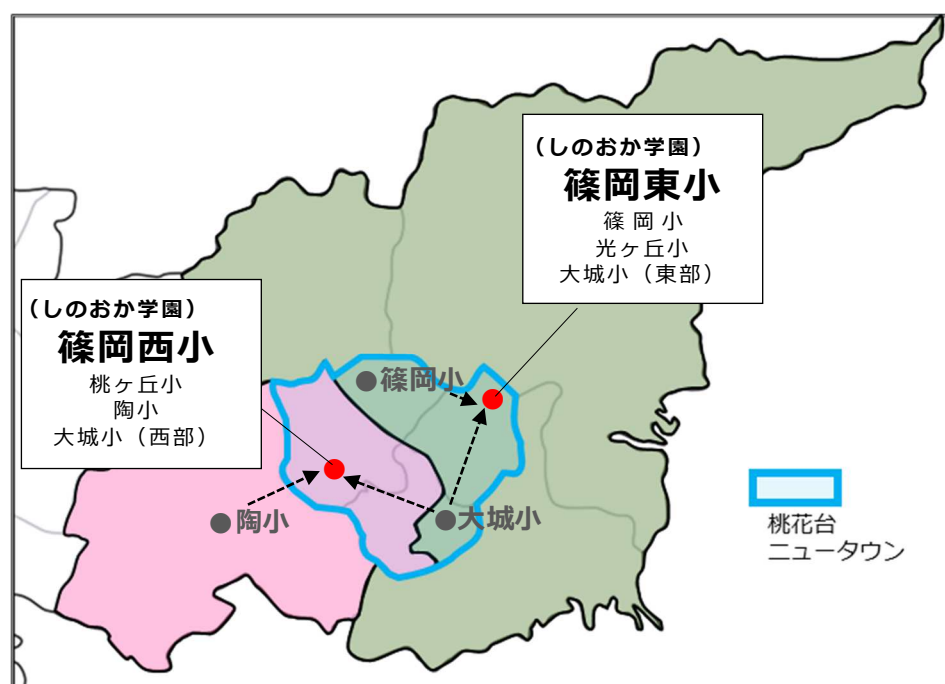
< 小学校 >

（しのおか学園） 篠岡西小学校

桃ヶ丘小学校、陶小学校、大城小学校（うち城山二丁目、城山四丁目、城山五丁目）を 1 校に集約し、桃ヶ丘小学校の校舎を利用します。

（しのおか学園） 篠岡東小学校

篠岡小学校、光ヶ丘小学校、大城小学校（うち大草、城山三丁目）を 1 校に集約し、光ヶ丘小学校の校舎を利用します。



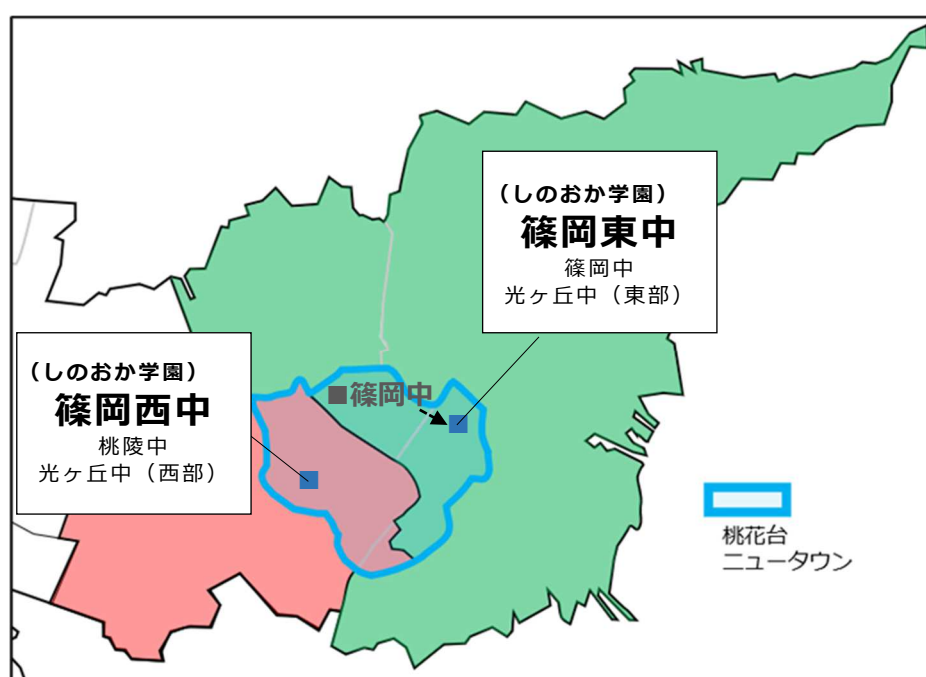
< 中学校 >

(しのおか学園) 篠岡西中学校

桃陵中学校、光ヶ丘中学校（うち城山四丁目）を1校に集約し、桃陵中学校の校舎を利用します。

(しのおか学園) 篠岡東中学校

篠岡中学校、光ヶ丘中学校（うち城山四丁目を除く）を1校に集約し、光ヶ丘中学校の校舎を利用します。



① 小学校2校、中学校2校に再編する理由

小学校については、現状においても1学年1学級の学校があり、今後、さらに増えていく状況にあることから、目の前のこどもたちの教育環境を早急に改善するため、まずは令和9年度から当面の間の児童数の推計を基に2校に再編することとします。

中学校については、現状においても1校で受け入れ可能な生徒数まで減少していますが、本市においては、今後、義務教育9年間の学びと育ちをさらに繋いでいくため、小中一貫教育の導入を検討していくこととしており、将来的な導入を見据えた場合、小学校区と中学校区が同じ校区であることが理想的であることから、小学校が2校の場合、中学校も2校が望ましいです。

【再編後の児童生徒数・学級数の推計】

再編を実施した場合の児童生徒数及び学級数の推計は次のとおりです。

推計では、小学校は、当面の間、適正規模を維持できる見込みです。

中学校は、適正規模を下回りますが、当面の間は全学年２学級以上を維持できる見込みです。

表 再編後の児童生徒数・学級数の推計（中位推計）

<小学校>

篠岡西小学校（桃ヶ丘小学校）

学校名		R9年度							R15年度							R20年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡西小 (桃ヶ丘小)	人数	73	61	61	73	89	106	463	40	38	38	49	56	63	284	39	40	40	41	41	40	241
	学級数	3	2	2	3	3	4	17	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12

学校名		R25年度							R30年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡西小 (桃ヶ丘小)	人数	38	38	38	38	39	39	230	38	38	38	38	38	38	228
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12

篠岡東小学校（光ヶ丘小学校）

学校名		R9年度							R15年度							R20年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡東小 (光ヶ丘小)	人数	71	88	85	110	94	106	554	45	45	39	60	58	80	327	45	45	45	46	46	45	272
	学級数	3	3	3	4	3	4	20	2	2	2	2	2	3	13	2	2	2	2	2	2	12

学校名		R25年度							R30年度						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡東小 (光ヶ丘小)	人数	45	45	45	45	45	45	270	44	44	45	45	45	45	268
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12

<中学校>

篠岡西中学校（桃陵中学校）

学校名		R9年度				R15年度				R20年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡西中 (桃陵中)	人数	119	117	123	359	73	61	61	195	39	36	45	120
	学級数	4	4	4	12	3	2	2	7	2	2	2	6

学校名		R25年度				R30年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡西中 (桃陵中)	人数	40	40	40	120	39	39	39	117
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6

篠岡東中学校（光ヶ丘中学校）

学校名		R9年度				R15年度				R20年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡東中 (光ヶ丘中)	人数	115	126	131	372	71	88	85	244	45	41	64	150
	学級数	4	4	4	12	3	3	3	9	2	2	2	6

学校名		R25年度				R30年度			
		中1	中2	中3	計	中1	中2	中3	計
篠岡東中 (光ヶ丘中)	人数	45	45	46	136	45	45	45	135
	学級数	2	2	2	6	2	2	2	6

※学級数は特別支援学級を除く

※全学年 35 人学級で算出

② 桃ヶ丘小学校、光ヶ丘小学校、桃陵中学校、光ヶ丘中学校の校舎を利用する理由

いずれの校舎も、市内の中では比較的残りの耐用年数が長い状況であり、施設の有効活用ができることに加え、再編後の児童生徒の通学距離を考慮した場合に、東西のバランスがよい位置関係にあります。

また、小学校と中学校が隣接していることで、学校間の交流が行いやすくなり、より小中学校の連携を強化することができます。

③ 小中一貫教育に向けた取組

「篠岡西小学校、篠岡西中学校」、「篠岡東小学校、篠岡東中学校」においては、小中の連携を強化し、9年間を意識したカリキュラムを実施することで、将来の小中一貫教育の導入に向けた取組を進めていきます。



④ 城山三丁目及び城山四丁目の通学区域

大城小学校区のうち光ヶ丘中学校区である城山三丁目及び城山四丁目については、通学の負担や地域住民の意向を踏まえた上で、城山三丁目は篠岡東小学校／篠岡東中学校（光ヶ丘小学校／光ヶ丘中学校）、城山四丁目は篠岡西小学校及び篠岡西中学校（桃ヶ丘小学校／桃陵中学校）の通学区域とします。

	通学区域
城山三丁目	篠岡東小学校／篠岡東中学校 (光ヶ丘小学校／光ヶ丘中学校)
城山四丁目	篠岡西小学校／篠岡西中学校 (桃ヶ丘小学校／桃陵中学校)

ただし、当該地域に居住する生徒のうち、令和8年度末時点で既に光ヶ丘中学校に通っている生徒は、篠岡東中学校（光ヶ丘中学校）に通学することとします。

加えて、学校再編から当面の間は、保護者から小牧市教育委員会への申請により、城山三丁目に居住する児童生徒は、篠岡西小学校及び篠岡西中学校（桃ヶ丘小学校／桃陵中学校）に、城山四丁目に居住する児童生徒は、篠岡西小学校及び篠岡西中学校（桃ヶ丘小学校／桃陵中学校）に通学する学校を変更できることとします。

図 城山三丁目及び城山四丁目の通学区域

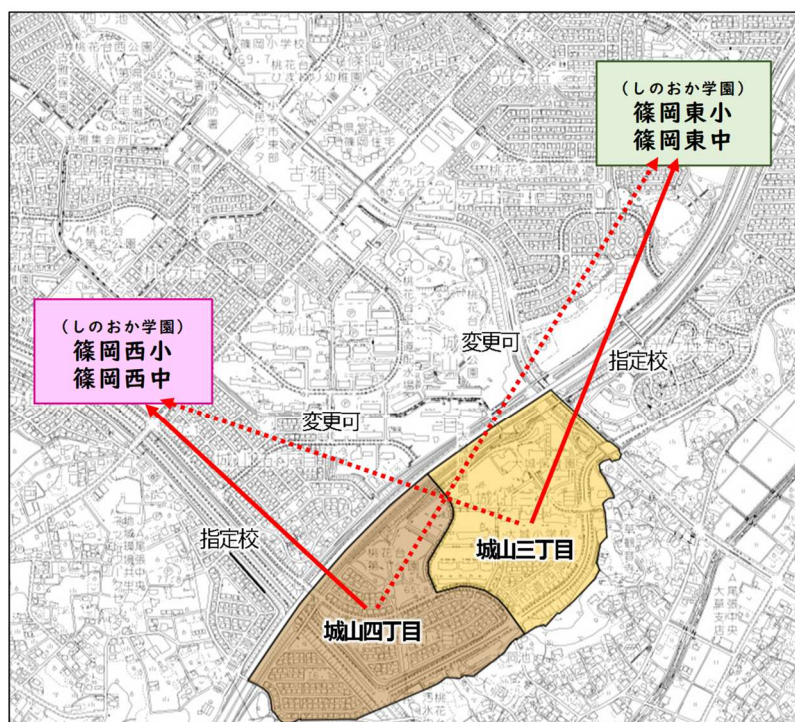


表 城山三丁目及び城山四丁目の通学区域に関するアンケート調査結果

		城山三丁目	城山四丁目
対象世帯数		80 世帯	33 世帯
回答世帯数		49 世帯	21 世帯
回答率		61.3%	63.6%
望ましいと思う 通学区域	桃ヶ丘小／桃陵中	16 世帯 (32.7%)	16 世帯 (76.2%)
	光ヶ丘小／光ヶ丘中	33 世帯 (67.3%)	5 世帯 (23.8%)

⑤ 遠距離通学の対応

小学校については、通学距離が著しく遠距離である児童に対し、スクールバスを導入することで、通学による心身の負担の軽減を図ります。

また、中学校については、各学校が指定するエリアに居住する生徒は、自転車による通学を可能とします。

ア スクールバス運行日

スクールバスの運行日は、学校の登校日とし、休日や夏休み等の長期休暇は、運休しますが、運動会や出校日等の学校行事がある場合は、運行します。

イ スクールバス運行本数

登校時は1便とします。

下校時は、下校時刻の異なる低学年と高学年向けの運行に加えて、部活動に取り組む児童がスクールバスに乗れるよう、部活動の実施日については、最大3便を運行します。

ウ スクールバス利用料金

学校再編という市の施策によって通学距離が遠くなるという点を考慮し、児童は無料で利用できることとします。

エ スクールバス運行対象エリアの考え方

スクールバスの運行対象エリアは、通学距離が2km以上となる児童に加え、篠岡地区の地域特性（学校までの高低差等）に配慮したエリアを設定することとし、具体的なエリアやスクールバスの停留所等については、今後、策定する「(仮称)スクールバス運行ガイドライン」の中で定めます。

なお、実際のスクールバスの対象者については、エリア内の児童からの利用希望申請を受け付ける中で、毎年、バスの定員や通学団の編成状況なども踏まえながら決定していきます。



（２）第２期再編

第１期の再編として、令和９年度に小学校２校、中学校２校の再編を実施しますが、篠岡地区においては、再編以降も児童生徒数の減少が見込まれており、このまま減少が続けば、複数校の維持が困難になることが想定されます。

一方で、本市は、令和４年３月に「東部振興構想」を策定し、東部地区全体の魅力を高め、持続的に発展し続けるまちづくりを地域住民や関係団体等と連携しながら進めています。

今後、「東部振興構想」の取り組みの効果などから若い世代の転入や、児童生徒数の上昇が見られる場合には、あらためて、将来のあるべき姿を見直す必要があります。

そのため、第２期の再編時期については、今後の児童生徒数の推移や校舎の状況等を見ながらの判断となりますが、その際、第１期の再編後の子どもたちの変化などの検証を行ったうえで、改めて保護者や地域の方々の意見をお聴きして決定していきます。



< 小学校 > < 中学校 >

（仮称）しのおか学園

第2期再編では、篠岡小学校と篠岡中学校の敷地に新たな学校を設立（小学校1校、中学校1校に再編）し、小中一貫教育の導入に向けて検討を進めます。

なお、篠岡小学校と篠岡中学校の敷地を新たな学校の設置場所の候補としている理由は、周辺には東部市民センター、篠岡児童館、緊急時の対応が短時間で可能となる消防署東支所が隣接しており、様々な面で学校活動との連携が期待でき、地域一帯を学びの場と捉えることができることと、小学校と中学校が隣接しており、他の学校と比較して敷地面積が広いこと、加えて、子どもたちが学校に通いながら建設工事を行うことを避けることができ、子どもたちの安全を確保することや教育活動に支障が出ないようにすることができるためです。



4 第1期再編の主な取組

（１）学校再編準備調査研究委員会の設置

学校再編準備調査研究委員会を立ち上げ、新しい学校の開校に向けて必要な具体的な内容（教育課程・教育目標・校歌・校章・部活動など）について、協議・決定をします。

（２）校舎の改修・修繕

再編後に使用する桃ヶ丘小学校、光ヶ丘小学校、桃陵中学校、光ヶ丘中学校の校舎については、老朽化が進んでいる箇所を改修・修繕し、児童生徒が安全に教育を受けられる環境を整備します。

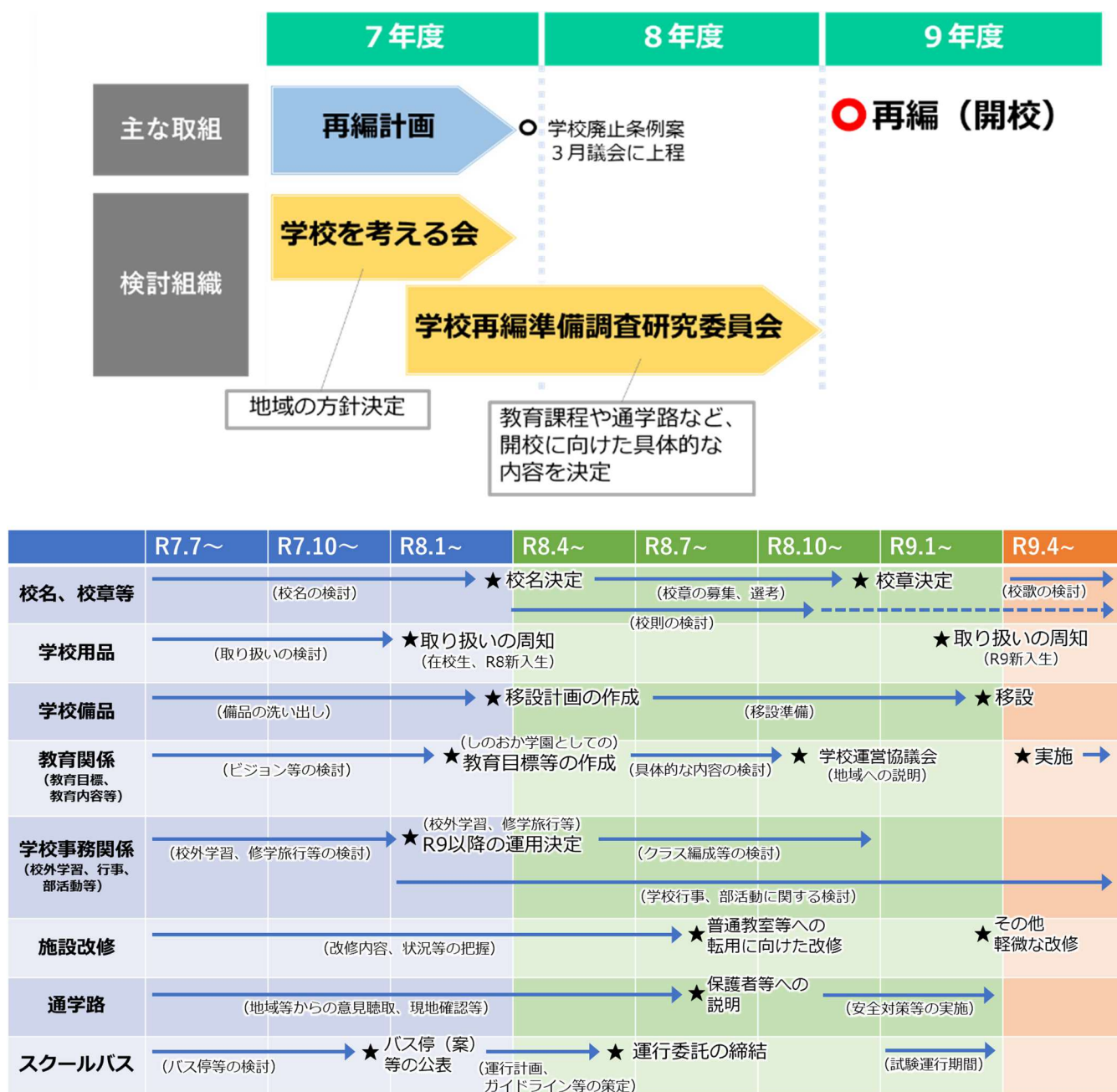
（３）通学路の設定

児童生徒が安全に通学できる通学路を設定し、通学路の安全対策を実施し、必要に応じて通学路のカラー塗装（みどり線）の設置等を実施します。



(4) スケジュール

令和9年度の開校に向けた主な取組とスケジュールは、次のとおりです。



注) スケジュール等は変更になる場合があります。